

三河版

「米中とバランス取り
対話で日本は秩序を」
本紙元上海支局長・川村さん

豊川

中国情勢を解説する川村さん―豊川市白鳥町のイオンモール豊川で



元・中日新聞上海支局長で名古屋外国語大名誉教授の川村範行さんの講演会が30日、豊川市白鳥町のイオンモール豊川であり、約40人の聴衆に中国情勢と日中関係の行方を解説した。

日中関係、現代中国を専門とする川村さんは、習近平政権が進める「人類運命共同体」の理念や巨大経済圏構想「一带一路」について説明。「中国がどこまで

世界を主導するかは日本の行方にとっても重要。日本は日中関係と日米同盟のバランスを取りながら、対話と平和外交によって東アジアの秩序を築いていかなければならない」と述べた。

豊川市国際交流協会主催。同協会では地域の国際化を推進する事業として国際理解をテーマにした講演会を毎年開催しており、今回もその一環。

(鍵谷朱里)